

60才からの食事付マンション Vol.6

ローズガーデン倉敷ニュース

「医療の安心があるホーム」 の評価を受けました。 施設長 高尾 公子

さわやかな新緑の季節を迎えました。

昨夏の酷暑、例年になく寒かった冬を過ぎ、また 3.11 東日本大震災・大津波・原発災害の後だけに、おだやかな気候の到来に安堵を覚えます。

被災地へ自衛隊・警察・消防隊の他、全国から沢山のボランティア・物資の援助が送られている映像や情報が入ってきます。この国難とも言える東日本大震災に、皆様も心を痛ませ、無力感を味わっておられる方も多いことでしょう。

しかし、無力と落ち込む必要はありません。東日本の復興は長期戦です。息の長い理解と支援が必要です。大戦と敗戦の窮地を経験した人の貴重な知恵の出番がきっと待っていますから・・・。何年か先、彼の地を旅行したり、特産品を買ったり、自分ができなくてもそれを誰かに託したり・・・。その時その志を持つ心と身体が元気であることが肝要です。今回フロントに届けられた支援物資は、3月末倉敷市の窓口へ届けました。また、義援金は、1回目を3月31日に日赤岡山支部へ届け、9月末まで続ける予定です。皆様のご厚志、ありがとうございました。

今、被災地で働く人達の腕章に「絆」という文字が入っています。皆さん、思い起こして下さい。昨秋の倉敷平成病院の第45回「のぞみの会」のテーマは「絆」でした。今年初めの山陽新聞・備中力くらしき力の記事等にも「医療の絆」を高尾理事長が話しています。

ところで今年1月発行の『週刊朝日MOOK, 2011版高齢者ホーム特集』で、「プロが入居したくなる高齢者ホーム12」のうちに当ローズガーデン倉敷が選ばれ、記事になりました。大変嬉しく思います。「医療の安心があるホーム」とのサブタイトルがついています。ローズガーデン単独では出来得ないことで、倉敷平成病院を始めとする全仁会グループの医療・介護の連続の中にあってこそこの評価。正に「医療の絆」の一端なのです。取材の後、館内に平成南町クリニックが開院しましたので、一層の安心を提供できる体制になりました。

皆様の周りにある「絆」を感じ、また増やしていきましょう。

2
医療の安心があるホーム

高尾 公子 施設長

米沢 美奈子 氏 編集

「医療の安心があるホーム」

認知症や末期がんの受け入れは？
看護師は24時間常駐か？
本誌独自調査でわかる
有料老人ホーム+
高齢者専用賃貸住宅
2824施設 + 104



クリニックを併設する住居

本年3月11日の東日本大震災・福島第一原子力発電所事故の被災者の皆様やご関係の方々の御心労を心よりお察し申し上げます。また、亡くなられました方々の御冥福を心よりお祈りいたします。

平成23年1月5日に、ローズガーデン倉敷の1階フロアに平成南町クリニックが開院いたしました。クリニックの経営母体は、社会医療法人全仁会で、診察は、私、玉田が担当いたします。

高齢者向賃貸マンション・60歳からの食事付マンションとして皆様にご評価いただいています「ローズガーデン倉敷」ですが、診療所の併設によって、まさに「医療との一体化」が実現いたしました。今後は同じ建物内においての診療が可能になりました。雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、居室からそのまま受診していただけます。

当クリニックの標榜科は、内科・呼吸器科としておりますが、一般の外傷や、熱傷の治療、耳鼻科的・皮膚科的な初期診療もしております。(救急外来をイメージして下さい。) 受診者の皆様のID番号(カルテ番号)は、倉敷平成病院と同じであり、同院での画像検査や臨床検査結果・処方内容は、クリニックでの末端機器にて参照可能です。倉敷平成病院に通院されている方につきましては、同院担当医と連携して診療を行っております。

院内処方薬剤には限りがありますので、多くの処方箋は院外処方箋となりますが、サエラ薬局での調剤を希望される方につきましては、処方箋をFAXで予め送付し、御不便をおかけしないようにしております。居室での診療・治療を希望される場合には、「往診」もしております。

ゆっくりと十分な時間をかけてお話を聞き、症状や身体所見を大切にして、「説明と納得の医療」をモットーにしております。入居者の皆様がより安心して暮らしていただけますよう医療の面からのサポートをいたしますので、よろしく願いいたします。

平成南町クリニック 院長 玉田 二郎

*玉田二郎院長の略歴：京都大学医学部卒業。京都大学胸部疾患研究所助手・倉敷中央病院呼吸器外科主任部長を経て平成14年9月から倉敷平成病院呼吸器科部長(診療部長・院内感染対策委員会委員長)。平成23年1月から現職。



《ローズガーデン倉敷だより》

1月13日、平成23年新年会を行いました。第2部はお琴と尺八の雅な調べに浸りました。会の始めの、入居者成田耕吉様 ご発声の乾杯のご挨拶を掲載させていただきます。

「社会医療法人となって初めての新年会の音頭を・・・と大変光栄に存じております。まず、理事長さん、公子先生の人生哲学が長い長い御苦労と御努力の結果、実を結び、昨年12月、名実共に社会に認められたこと。スタッフの皆様の御努力と共に心よりお祝い申し上げ、これからも益々のご発展をお祈り申し上げます。

また、日本各地から当ローズガーデン倉敷を選んだ私達と深い深いご縁があったのだと思います。入居当時は元気であっても、年と共にいろいろございます。いざの時に大きな支えがあります。毎日楽しく人生に思い残すことのないフィナーレを飾ることが出来ると確信しております。これからも、関係各位には大変お世話をかけることと存じますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

今年の寒さは特に厳しいです。皆様のご健康と全仁会の益々のご発展をお祈りして乾杯をお願いいたします。」

総務部長 猪原 徹



楽しく暮らすメニュー その5



ローズガーデン倉敷では、ご入居の皆様は、日々、生き生きとした生活を送っていただけるよう、多彩なイベント(誕生会・バス旅行・食事ツアー等)、クラブ(コーラス等)、カルチャー教室(民謡・お琴・生け花等)を催しています。



毎月、1階ロビーで行っている誕生会では、第1部のお食事会に続いて、第2部として、各界で活躍されている方々をお招きしてのミニコンサートや講演会等を行っています。ミニコンサートでは、楽器だけでも、ピアノ・オカリナ・マリンバ・バイオリン・ビオラ・チェロ・オーボエ・ファゴット・ハープ・ギター等々から、琴・尺八・三味線・和太鼓等々の和楽器まで、色んなジャンルの生演奏を近くで体感できる機会になっています。



3月には、初めて落語の高座を楽しみました。カルチャー教室の発表会、そして医師による健康講座等も行っております。これからも、誕生会の第2部として、より楽しく、感動し、笑い、そして勉強にもなるような、そんな企画をしていきたいと思っています。



生活相談員 平松 和晃

倉敷美観地区周辺の催し物のご案内

「ハートランド倉敷」

5月2日(月)～4日(水)

2日は、午後7時30分から美観地区でのキャンドル点灯式にて開幕します。倉敷川河畔がライトアップされ、竹取物語川舟流しと篠笛演奏が行われ、夜の幻想的な美観地区を演出します。

3日は、午前11時から午後1時までJR倉敷駅前から美観地区入口までの倉敷中央通りを歩行者天国とし、マーチングバンド等約1,300人の華やかな市中パレードが行われます。美観地区においては、瀬戸の花嫁川舟流し・倉敷天領太鼓川舟流し・竹取物語川舟流しが催され、倉敷アイビスクエアでは、アルプホルン・二胡・倉敷天領太鼓等の演奏が、また、倉敷物語館では、皿回しパフォーマンス・くらしき作陽大学による演奏などが予定されています。

4日は、美観地区で、瀬戸の花嫁川舟流し・茶屋町鬼太鼓川舟流しが催され、倉敷アイビスクエアでは、カウントハードジャズオーケストラの演奏などが、また、倉敷物語館では、シーズファッション紹介・くらしき作陽大学による演奏なども予定されています。3日、4日を通して商店街内にあるピオス憩いの広場では、江戸のおもちゃ創作体験や江戸風似顔絵などが予定されています。

*ローズガーデン倉敷から徒歩5～15分の距離ですので、ごゆっくりお楽しみください。



(恒例のかぐや姫も...)

職員ごあいさつ&お知らせ



介護福祉士 本地 智美

この度、第2子出産の為にしばらくの間、産休に入ることとなりました。皆様には、大変ご迷惑をお掛け致します。少しの間、皆様ともお別れですが、元気な赤ちゃんを産んで、早く復帰したいと思っています。それまで、皆様もお身体にお気をつけください。



介護福祉士 坂本 千尋

この度、第3子の産休・育休が明け、5月半ばよりローズガーデン倉敷でお世話になることになりました。ローズガーデン倉敷には、開設準備室から開設半年程勤務していましたので、初期にご入居された方達とは再会となり、楽しみにしています。今は沢山の方達が入居されており、わからない事もあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

好評！春・秋の日帰りバス旅行
今回は 5月11日(水)
「宮島方面
ランチクルージングの旅」です



第三期入居受付中。
入居者100名を超えました。最終の入居募集を行いますので、知人の方のご紹介をよろしくお願いいたします。



住宅型有料老人ホーム

ローズガーデン倉敷

社会医療法人 全仁会

〒710-0823
倉敷市南町4番38-100
TEL 086-435-2111
FAX 086-435-2118
MAIL rosegarden@heisei.or.jp